

平成29年度

# 学校要覧



校歌

<p style="text-align: center;">三</p> <p>あ教肩歩学 あえくみび このああこ 集いぐせ わがの生 軽顔のま 部</p>	<p style="text-align: center;">二</p> <p>あ磨幾今小 あい年月松 このなを招 学で村くの びた人よか 舎木の赤た わのいわら が机屋ら 軽部根に</p>	<p style="text-align: center;">一</p> <p>あ岸水春緑 あ辺清はの このらか山 の光かがの 里るなよふ よ黄砂うと わ金川桃こ がのののろ 軽稲花に 部</p>
--	---	--

橋新時  
本田本  
祥左堅  
路武郎  
編作曲  
作曲詞

## 岡山県赤磐市立軽部小学校

〒701-2213 岡山県赤磐市今井100番地

TEL 086-957-3002 FAX 086-957-4283

E-mail karube-sho@city.akaiwa.lg.jp

HP <http://karube-es.city.akaiwa.okayama.jp/>

設置者：岡山県赤磐市 管理者：赤磐市教育委員会

## 学区の概要

- 静かで豊かな農村地帯である。都市近郊のためほとんど兼業農家であり、良質米の産地として知られ、温室ぶどう・パスカラサン・庭園用苗木の栽培が盛んである。
- 学校教育に熱心な方が多く、学校行事や活動に積極的に関わりをもってくださいの保護者や地域住民が多い。半数以上の家庭が3世代同居である。

## 学校の沿革

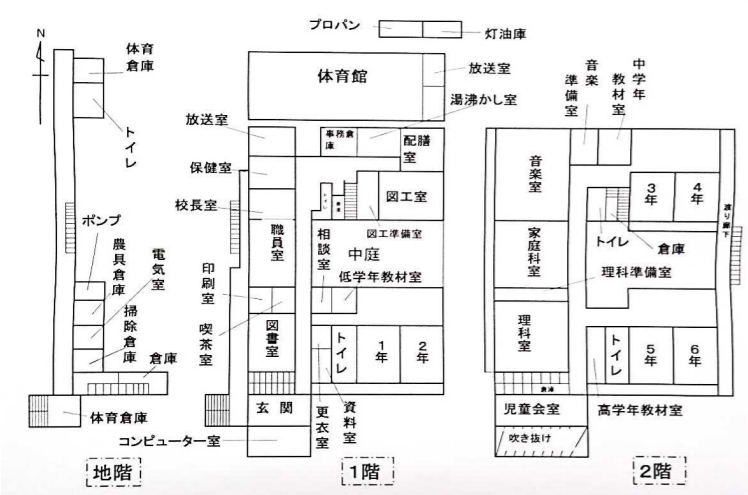
年	事柄
明治 7	大字今井越浦に真徳小学校設立
明治 36	軽部尋常小学校と改称
昭和 22	戦時中の国民学校をへて軽部小学校と改称
昭和 46	健康優良学校全国表彰受賞
昭和 47	プール完成
昭和 50	岡山県指定安全教育研究校(2カ年)
昭和 56	体育館完成
平成 元	新校舎完成
平成 2	小教研赤磐支会指定研究校(算数) 豊かな教育環境部門公立学校優良施設 全国表彰
平成 8	午前5時間制実施(平成7年11月試行)
平成 9	岡山県小学校音楽教育研究会大会会場校
平成 10	交通安全子ども自転車岡山県大会最優秀受賞(全国大会出場)
平成 11	交通安全子ども自転車岡山県大会優秀受賞
平成 17	市町村合併により赤磐市立軽部小学校と改称
平成19~20	英語活動等国際理解活動推進事業指定(文部科学省)
平成 21	岡山県学校保健推進学校表彰受賞
平成21~22	赤磐市教委指定研究校
平成 22	健康教育推進学校優良校表彰受賞(日本学校保健会)
平成23~24	特別支援教育指導の充実のためのモデル事業(赤坂中学校ブロック合同研究)
平成27~	魅力ある授業づくり事業
平成28~	赤磐市教育委員会指定赤坂中学校区小中連携事業(平成30年度)

## 教職員

校長	藤原 清志	学校経営
教頭	服部 真典	学校運営
教諭	西井 仁美	1年担任・研究主任
講師	福田 裕子	2年担任・地域連携主任
教諭	小山 淳志	3年担任・保健主事
教諭	金井 朝子	4年担任・教務主任
講師	草加 陽介	5年担任・体育主任
教諭	綱嶋 茂	6年担任・生徒指導主事
教諭	宗高 麻衣	(育児休暇)
非常勤講師	西井 久恵	専科(音楽)・児童支援
非常勤講師	平賀 律子	専科(家庭)
養護教諭	平瀬 加那	学校保健・安全教育
事務主事	肥塚 敏弘	学校事務
校務員	三浦かずみ	環境美化・給食
司書(兼)	時長 由佳	学校図書
特別非常勤講師	佐份利祐子	器楽マーチング・音楽
ALT	ナターシャ・ウィルソン	外国語活動

学校医(戸川敬子) 学校歯科医(坂本宏充) 学校眼科医(渡辺聖) 学校薬剤師(上田昂志)

## 校舎平面図





## 教育活動



明るく学び、笑顔のあふれる**美しい**小学校

美しい環境

美しく整備された環境は、安全で安心な環境となる。

美しい心

児童の美しい心は、笑顔となって表れ、全ての活動の源となる。

達成された姿(目指す子ども像)

学ぶ楽しさに瞳が輝く美しい子  
やり遂げようとする姿が美しい子  
相手を思いやる言葉が美しい子

<学習規律・学習習慣の確立>  
<ねばり強さの育成>  
<励まし合える人間関係づくり>

## 学校教育目標

### 自主自立, 豊かな心でたくましく

## 学校

## 家庭や地域と連携

◎小規模校・少人数の特徴を最大の利点として

- 「チームKarube」の組織としての機能を生かして
  - ・学校組織の中での各分掌の位置づけや目的・目標が明確になる校務分掌の工夫。
  - ・特別支援教育の充実 特別な支援を要する児童への支援体制 授業のUD化の取り組み
  - ・危機管理体制の充実 (環境・いじめ防止・特別支援教育 等)
  - ・教職員の育成・評価システムによる職務の推進
  - ・関係機関との連携

○軽部の特色を生かして

- ・児童が自信をもって「わかった」と言える・思える授業の工夫
- ・生活に結びつく力の育成  
「学んで使う 使って学ぶ」
- ・一人ひとりがめあてをもって努力し、互いの成長を認め合う場と時間の設定
- ・午前5時間制から午前4時間制への円滑な移行
- ・正しく名を呼ぶことから始まる仲間づくりの工夫

○家庭や地域との交流や連携を生かして

- ・地域の教育資源(人・もの・こと・技)の活用
- ・情報の受発信による保護者・地域住民・地域産業との連携の強化

家庭・地域との連携

- 「やらされる学習」から「やりたい学習」へつなぐ、家庭学習・自主学習のあり方の工夫
- 各家庭でのあいさつ運動 早寝 早起き 朝ごはん運動の基本的な生活習慣の定着等、児童の生活リズムの確立への働きかけ。
- 迅速で適切な連絡(家庭訪問や電話連絡等)による信頼関係の構築と深化
- 登下校時の児童の安全確保。  
(子どもを守ることは地域を守ること)
- 学校だより、HP、携帯メールによる連絡を活用しての迅速な情報発信
- PTAとの各種会議、学校評議委員会 民生委員との懇談会等を活用して、保護者や地域住民の意向や願いの汲み上げを図る。
- 地域の教育力の学校への活用。

赤坂中学校区での連携

- 保小中の12年間の子どもの育ちを見通した連携

美しい軽部小学校に向けての中心目標

☆美しい環境づくり  
ゴミ0の学校

☆美しい心づくり  
わかった : 分かる授業  
やった : やりたい学習  
ありがとう : 言葉遣い

## 教職員の進む方向

学んでよかった軽部小学校(児童)

行かせてよかった軽部小学校(保護者)

勤めてよかった軽部小学校(教職員)

あってよかった軽部小学校(地域)

◎児童

- ・楽しく学び遊べる、安心できる学校づくり
- ・「分かる喜び」「達成感・満足感」「存在感」を感じることでできる学校づくり

◎保護者

- ・子どものがんばりや成長が実感できる学校づくり
- ・保護者の思いを受け止め、真摯に応える学校づくり

◎教職員

- ・自己の能力や特性を十二分に発揮できる「充実感」のある学校づくり
- ・互いを思いやり、「一体感」が感じられる同僚性豊かな学校づくり

◎地域

- ・地域と共に子どもを育て、地域の活力となる学校づくり
- ・地域の伝統・文化を大切にす心の拠り所となる学校づくり



### 「学びたい!」「やってみよう!」意欲を育てる単元構想と活用場の場づくり

日課表		
時刻	活動	備考
8:05 ~ 8:15	朝の会	月:児童朝会
8:15 ~ 9:00	1校時	
9:05 ~ 9:50	2校時	
9:55 ~ 10:40	3校時	
11:00 ~ 11:45	4校時	
11:50 ~ 12:35	5校時	
12:35 ~ 13:15	給食	
13:38 ~ 13:50	そうじ	火:ロング昼休み
14:00 ~ 14:15	軽部っ子タイム	
14:15 ~ 14:30	帰りの会	
14:30 ~ 15:15	6校時	水:なし 金:クラブ・委員会等
15:35	最終下校	水:14:35

## 地域と連携して

- 外部による学校評価の実施
- 軽部分館と連携・協力した行事(体育祭・ボランティア活動など)
- 地域と連携して発表する「軽部フェスタ」
- こども110番設置協力
- ファイナリー・レイクサイド・春の家など

## 学校をサポートくださる方々

- 赤磐市教育委員会
- 軽部小学校 PTA
- 学校評議員会(年3回)
- 軽部分館
- 民生児童委員
- 更生保護女性部



## 本校の特色

### 開かれた学校づくり

- 「軽部フェスタ」「軽部ふれあい体育祭」など、保護者・保育園・地域参加型で実施することにより、児童にとっては教科学習や総合的な学習の一つの発表の場として位置づける。
- 赤磐市内の施設・設備・産業や人材(赤坂ワイナリー・赤坂レイクサイド CC など)を積極的に授業に取り入れ、地域に密着した学校づくりに取り組む。

### こ中連携・交流活動の推進

- 赤坂中学校区の各校園と連携して、岡山型スタンダードをもとにした授業づくりや家庭学習、体験活動の充実についての研究を行うことにより、一人ひとりの児童が主体的な活動力を身につけることができるようにする。
- 連合修学旅行や連合海事研修や交流学习による赤坂中学校区の3小学校間の交流を通して、人と人との関わりにおいて必要な力の育成を図る。

### 思いやり

- 特別活動や全校活動において、縦割り活動を推進することにより、異学年間の思いやりを育てるようにする。

## 本校の子どもたち

学級別児童数 (H29.5.1)							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男	5	5	6	5	4	5	30
女	4	2	5	7	2	3	23
計	9	7	11	12	6	8	53

年度別児童数の推移 (H29.5.1)					
年度	H28	H29	H30	H31	H32
人数	50	53	52	57	55

地区別児童数 (H29.5.1)								
地区名	西軽部	東軽部	今井	北佐古田	南佐古田	多賀	出屋	合計
世帯数	18	9	3	2	4	6	2	44
児童数	23	11	3	2	4	8	2	53

